



日時：令和8年2月27日（金）13時30分開会

会場：水戸市役所 4階 中会議室1～3

令和8年度提案事業の公開プレゼンテーション

発表順	予定時間	提案事業名	提案団体	市の担当課	
	13:30	開 会			
プレゼンテーション	1	13:35～	若い世代で戦争の紙芝居を伝承しよう ～デジタル化による新たな紙芝居を創 る～	一般社団法人オリーブ 協会	文化交流課
	2	13:50～	ためしもいち！ 市民の“やってみたい”からはじまる 景観まちづくり実証事業	さととし	都市計画課
	3	14:05～	地域と動物の共生プロジェクト2026	いばらきのシッポの幸 せの会	動物愛護セ ンター
	4	14:20～	次世代継承店舗と学生がつくるまちづ くり ～起業ゲームから実践へ～	23RD まちづくり株式 会社	商工課
	5	14:35～	参考書バンク	茨城高校国際教養コー ス・これミラ班	ごみ減量課
	6	14:50～	水戸に住む外国人市民の地域コミュニ ティ参加への支援事業「うちにおいで よ水戸プロジェクト in 有賀」	特定非営利活動法人ち いきの学校	市民生活課
	7	15:05～	「戦争と平和」の歴史発掘・発信事業 -水戸南飛行場と戦後開拓の歴史を未 来へ-	拓友会・水戸まちづく りの会	歴史文化財 課
	8	15:20～	みと防災 DX サポートプロジェクト	水戸市防災士協会	防災・危機管 理課
	15:35	閉会			

※ 進行により時間が前後する場合があります。

★令和8年度 提案事業の概要 ★

提案事業名	若い世代で戦争の紙芝居を伝承しよう～デジタル化による新たな紙芝居を創る～		
提案団体	一般社団法人オリーブ協会	市の担当課	文化交流課
事業の概要	<p>戦後 80 年を迎え、戦災体験者も年々減り続けている。平和の大切さを伝えられる紙芝居などは多くあれど、それを伝えることのできる人たちも少なくなっている。</p> <p>本事業では、学生を募集し、これまで公演を行ってきた「戦争の紙芝居」を聴いてもらい、その内容を一緒に考えながら、プログラミングや音・映像の加工などの役割を担ってもらい、長く残せない紙の資料を、半永久的に残せる動画コンテンツ等にデジタル化する取組み。この事業をきっかけとして、若い世代の平和への意識醸成と次世代へ語り継ぐ役割を担ってもらうことを目的とする。</p>		
収支計画 [事業総額] 500,000 円	収入	市補助金・・・450,000 円， 団体負担 …… 50,000 円	
	支出	諸謝金，印刷製本費，委託料など	

提案事業名	ためしもいち！ 市民の“やってみたい”からはじまる景観まちづくり実証事業		
提案団体	さとととし	市の担当課	都市計画課
事業の概要	<p>備前堀を含む下市エリアにおいて、市民一人ひとりの「やってみたい」という思いを起点に、地域に蓄積されてきた景観資源を活かしながら、新たな関わりや使われ方を生み出していく「景観まちづくり」を実践する取組で、以下の活動を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 プレイヤー・運営メンバーの募集と体制づくり 2 景観・建物・地域資源に関する学びと視察 3 アイディアの具体化と実践イメージの検討 4 空き店舗を活用したマルシェ等の実証実験の実施 		
収支計画 [事業総額] 560,000 円	収入	市補助金・・・ 500,000 円， 参加負担金・・・ 60,000 円	
	支出	印刷製本費，委託料，賃借料，謝礼費	

提案事業名	地域と動物の共生プロジェクト 2026		
提案団体	いばらきのシッポの幸せの会	市の担当課	動物愛護センター
事業の概要	<p>動物愛護に関する情報や基本的な動物飼養マナーを地域全体に分かりやすく伝え、動物と人間が共存できる持続可能な社会を目指すとともに、地域のつながりを深め、草の根レベルでの意識改革を実現することで、野良猫問題などの解決、動物に関するトラブルの未然防止にも寄与する事を目的として、以下の活動を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 飼養の見える化を目的としたステッカーの作成・配布 2 ペット終活・ライフプランシートの配布 		
収支計画 [事業総額] 556,000円	収入	市補助金・・・ 500,000円, 自己資金・・・ 56,000円	
	支出	広告宣伝費	

提案事業名	次世代継承店舗と学生がつくるまちづくり～起業ゲームから実践へ～		
提案団体	23RD まちづくり株式会社	市の担当課	商工課
事業の概要	<p>ロマンチックゾーンエリアの特色や、学校が集積しているエリアであることを活かし、大学生や高校生などの若い世代と課題を持つ地域の店舗（次世代継承店舗）が協力して行うワークショップを開催する。学生などのアイデアの地域への取入れや、創業機運の醸成に取り組み、若い力を活かした地域経済の活性化や若者が活躍できる社会の実現を目指し、以下の活動を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 店舗へのヒアリング調査などのリサーチ・アイデア出し・事業計画 2 ポップアップショップ実施などの実践 3 データ収集と分析など事業成果の評価・共有（可視化） 		
収支計画 [事業総額] 560,000円	収入	市補助金・・・ 500,000円, 寄付金・・・ 60,000円	
	支出	諸謝金, 人件費, 印刷製本費など	

提案事業名	参考書バンク		
提案団体	茨城高校国際教養コース・これミラ班	市の担当課	ごみ減量課
事業の概要	<p>受験や試験後に高校生や中学生によって廃棄されてしまう参考書の数減らし廃棄削減に貢献することと、多様な人々に本と教育の機会を提供することを目的に、高校生の目線で以下のような参考書を中心としたリユース事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アンケート調査により必要とされる参考書などの具体数の把握 2 デジタル技術や学生のネットワークを生かした広報活動 3 イベントのブース出店や公共施設において本の譲渡会の実施 4 譲渡会にあわせたSDGs セミナーの実施 		
収支計画 [事業総額] 500,000円	収入	市補助金・・・ 500,000円,	
	支出	通信運搬費, 消耗品費, 広告宣伝費など	

提案事業名	水戸に住む外国人市民の地域コミュニティ参加への支援事業 「うちにおいてよ水戸プロジェクト in 有賀」		
提案団体	特定非営利活動法人ちいきの学校	市の担当課	市民生活課
事業の概要	<p>水戸に住む外国人が長く安心して住み続けられるために、困ったときに頼れる人が身近にいることが重要であり、町内会・自治会など地域コミュニティとの関係性を築いていくことが望ましいとされている。そのため、以下の活動を通じた「外国人と地域住民との共生モデル」を作り、水戸市内の各地域に横展開していく事を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 居住外国人・地域住民が自然に交流できる「第三の関わり方」を提案 2 地縁型（町内会）とテーマ型（NPO等）の地域コミュニティを緩やかに接続したイベント等へ外国人の参加を促し、町内会参加に繋がる交流をつくる 3 啓蒙啓発につながるWeb、パンフレット等のツールの作成 		
収支計画 [事業総額] 510,000円	収入	市補助金・・・ 460,000円, 自己資金・・・ 50,000円	
	支出	広告宣伝費, 印刷製本費, 諸謝金など	

提案事業名	「戦争と平和」の歴史発掘・発信事業 -水戸南飛行場と戦後開拓の歴史を未来へ-		
提案団体	拓友会・水戸まちづくりの会	市の担当課	歴史文化財課
事業の概要	<p>戦争体験者が減少の一途をたどる中、今後、失われつつある戦争の記憶をいかに発掘・発信し、未来に継承していくかが水戸市の重要な課題となっている。</p> <p>本市に残る数少ない戦争遺跡の一つである「水戸南飛行場跡」と跡地の戦後開拓の歴史を跡地の開拓者及びその子孫への聞き取り調査、関連資料の発掘から記録化し、それらをまとめた市民協働の展覧会等を開催する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 水戸南飛行場跡地のフィールド調査 2 1の調査成果をまとめ、企画展「水戸南飛行場と戦後開拓」（仮題）を開催 3 有識者による講演会を開催 4 飛行場跡地の散策コースを開設し、現地散策ツアーを開催 		
収支計画 [事業総額] 560,000円	収入	市補助金・・・ 500,000円，負担金・・・ 60,000円	
	支出	報償費，消耗品費，委託料	

提案事業名	みと防災DXサポートプロジェクト		
提案団体	水戸市防災士協会	市の担当課	防災・危機管理課
事業の概要	<p>地域に根ざした自主防災力の強化を図ると同時に、国・県・市等が発信する防災情報を、市民一人ひとりが自らにとって必要な情報としての確に入手・活用できる仕組みをつくることを目的としている。</p> <p>地域住民である防災士が地域の中へ入り、自主防災組織役員等と各地区の自助・近助・共助の防災力を高める活動を体系化すること、そしてデジタル防災情報の普及とデジタルデバイドの解消を同時に進めることを目指し、みと防災のための【IT・DXサポート活用講座】を実施する。</p>		
収支計画 [事業総額] 510,000円	収入	市補助金・・・ 450,000円，協会支出金・・・ 60,000円	
	支出	印刷製本費，諸謝金，消耗品費，通信運搬費	

※ 各提案事業の事業名や収支計画は、応募の時点で予定している内容です。
協働事業として実施する際の協議により、変更になる場合もあります。

多角的な視点から
審査します

協働推進委員会による審査では、提案団体が作成した協働事業提案書と公開プレゼンテーションをもとに、8つの審査項目に沿って採点します。

審査の結果、委員会が推薦する事業の中から、市は予算の範囲内で実施する事業を決定します。
(事業の決定は3月末の予定です)

【 審査項目 】

先見性・独創性	新たな着想や創意工夫があるか
事業の公共性	不特定多数の利益、社会全体の利益につながるか
ニーズの理解	社会的課題や市民ニーズをとらえているか
協働の必要度	協働による相乗効果が期待できるか
事業の将来性	成果の活用や波及効果など将来展望が明確か
手段の効率性	労力や経費などの見積りが適切か
役割分担	自立性を尊重し、お互いの長所を生かしているか
実現可能性	自己資金の確保や企画内容が実現可能か